

県内景況、一部持ち直すも「第7波」懸念

製造業を中心に円安や部材調達難、原材料価格高騰などの影響続く

～景況DI値は、前年同月比7.9ポイント上昇のプラスマイナス0～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 6月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比21.0ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比10.6ポイント低下のプラス10.5、前年同月比31.6ポイント低下のプラス26.3。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のプラス15.8、前年同月比10.5ポイント低下のプラス31.6。非製造業では、DI値前月比同水準のプラス26.3、前年同月比10.5ポイント上昇のプラス36.8。

収益状況 製造業では、DI値前月比21.0ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス21.0。非製造業では、前月比5.2ポイント低下のマイナス15.7、前年同月比同水準のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比10.6ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月15.9ポイント上昇のプラス10.6。

雇用人員 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス5.3、前年同月比同水準のマイナス5.3。非製造業では、前月比21.1ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比15.9ポイント低下のマイナス5.3。

景況 製造業では、DI値前月比5.2ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比5.3ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比10.5ポイント上昇のプラス10.5。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比0.1ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比7.9ポイント上昇のプラスマイナス0となった。製造業の一般食料品、紙・加工品、生コン、金属製品関連では、円安の影響による原材料輸入に係る仕入価格の高騰、半導体不足による部材調達の遅延など、厳しい状況が続いている。非製造業では、新型コロナの感染拡大が落ち着きをみせたことで、各種イベントの再開や県民割の広がりなど人流の増加による回復の兆候が見られる。

県内景況は、一部に持ち直しの動きも見られたが、製造業を中心に円安や部材調達難、原材料価格高騰などの影響が続くなど引き続き厳しい状況。今後についても全国的に「第7波」の影響が拡大しつつあり、さらなる景気低迷が懸念される。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

6月の全国倒産は、件数544件で、前年同月を1.3%上回った。負債総額は1兆2,839億800万円（負債総額1,000万円以上）で、前月から引き続き前年同月比で増加し、2020年7月以来、約2年ぶりに2カ月連続の増加となった。不況型倒産の構成比は79.1%、2カ月連続の増加となった。

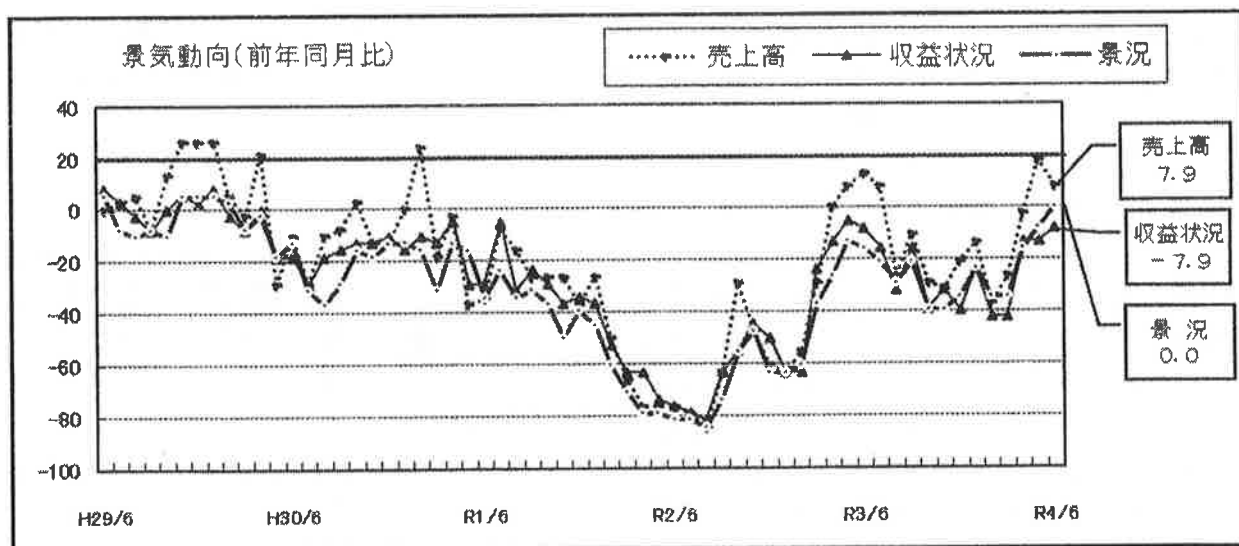
一方、6月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件（前月1件）、負債総額は1億3,000万円（前月1000万円）、業種は卸売業、主因別は販売不振となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報5月分」）

鳥取県の5月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.48倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.24倍）で、前月より0.03ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.25倍、米子所1.38倍、倉吉所1.60倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.64倍（季節調整値）で、前月より0.09ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比17.5%増加し、有効求人数は10.4%増加となった。産業別に前年同月で比較すると、製造業（39.3%）、卸売業・小売業（29.0%）、サービス業（19.7%）、建設業（11.9%）、医療・福祉（7.7%）、宿泊業・飲食サービス業（2.9%）、で増加した。

新規求職者数は、前年同月比21.9%増加し、有効求職者数は前年同月比1.7%増加となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.22倍で、前年同月を0.10ポイント上回った。新規求人数は前年同月を18.4%上回った。



6月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	26.3%	26.3%	0.0 21.0	42.1%	31.6%	10.5 -10.6	34.2%	28.9%	5.3 10.5
(2) 在庫数量	15.8%	0.0%	15.8 5.3	16.7%	8.3%	8.4 0.0	16.1%	3.2%	12.9 3.2
(3) 販売価格	15.8%	0.0%	15.8 -10.5	31.6%	5.3%	26.3 0.0	23.7%	2.6%	21.1 -5.2
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 10.6	0.0%	5.3%	-5.3 -10.6	2.6%	7.9%	-5.3 0.0
(5) 収益状況	10.5%	26.3%	-15.8 21.0	21.1%	36.8%	-15.7 -5.2	15.8%	31.6%	-15.8 0.1
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 0.0	0.0%	15.8%	-15.8 10.6	0.0%	13.2%	-13.2 5.3
(7) 設備操業度	15.8%	10.5%	5.3 15.9						
(8) 雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	5.3%	5.3%	0.0 21.1	2.6%	5.3%	-2.7 -10.6
(9) 景 況	10.5%	26.3%	-15.8 5.2	10.5%	26.3%	-15.8 -5.3	10.5%	26.3%	-15.8 -0.1

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	21.1%	31.6%	-10.5 10.5	47.4%	21.1%	26.3 -31.6	34.2%	26.3%	7.9 -10.5
(2) 在庫数量	21.1%	5.3%	15.8 10.6	33.3%	8.3%	25.0 -8.3	25.8%	6.5%	19.3 3.1
(3) 販売価格	31.6%	0.0%	31.6 -10.5	42.1%	5.3%	36.8 10.5	36.8%	2.6%	34.2 0.0
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 15.9	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	2.6%	7.9%	-5.3 7.9
(5) 収益状況	5.3%	26.3%	-21.0 10.6	31.6%	26.3%	5.3 0.0	18.4%	26.3%	-7.9 5.2
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	21.1%	10.5%	10.6 15.9	10.5%	10.5%	0.0 10.5
(7) 設備操業度	15.8%	21.1%	-5.3 15.8						
(8) 雇用人員	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	10.5%	15.8%	-5.3 -15.9	5.3%	10.5%	-5.2 -7.8
(9) 景 況	15.8%	26.3%	-10.5 5.3	31.6%	21.1%	10.5 10.5	23.7%	23.7%	0.0 7.9

*D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料（小麦粉、油脂類）や光熱費（LP ガス、電気等）の大幅な値上がりにより収益が圧迫されている。取引先の理解を得ながら一部商品の値上げを行っている。

醤 油⇒ 業界としては、醤油・味噌ともに輸出が伸長しているが、県内では輸出品がないため苦戦が続いている。原材料では外国産大豆の価格が前年比約 135% に上がってきており、収益悪化の要因になっている。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 円安が追い風となり、国内生産需要が高まってきている。今後は物価高に合わせ、受注単価の上昇が必須となる。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため売上高は減少傾向。

ニット製品⇒ 人流の復活に伴って衣料品の消費動向に動きが見られるが、E コマース（電子商取引）の進展など依然として売り場の変動は続いている。衣料品小売大手が値上げを表明しており、今後の消費動向、製品輸入動向によって国内生産メーカーも影響を受ける。

【家具装備品】

⇒ 円安や燃料高により、各所から仕入価格の値上げが続いている。販売価格の値上げをせざるを得ず、消費者ニーズの高い低価格帯商品がなくなっているため、売上、収益とも厳しい状況が続いている。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月に比べやや減少。合板の生産量も前月比でやや減少した。原木価格は少し落ち着いてきたが、製材品価格に大きな変化はない。合板工場火災の影響が不安視されている。プレカット加工の稼働率は、前月比で 40% 増加、前年同月比で 50% 増加した。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 原材料が高騰し続けているため春に販売価格を値上げしたが、その値上げ分を上回る輸入原在料の値上げにより、資金繰りの悪化が危惧される。再度値上げをするべきか思案中である。

【印 刷】

⇒ 行政、学校関係などで部数調整が厳しくなっており、受注件数は例年並みだが、売上が上がらない。用紙が 15%～20% 値上がりし、送料、インキなどについても値上がりしたことで厳しさが増している。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 6 月の生コン出荷量は、前月比 11% 増加、前年同月比 5% 減少。各地区ともに大型プロジェクト事業が少なく、需要が伸びないため厳し

い。セメントの値上げと、燃料費の値上げでコストが上昇しており、各地区で生コン価格の値上げを実施している。セメント製造に必要な石灰について、ロシア産の禁輸によって製造コストの大幅上昇が見込まれ、再度セメント価格の上昇が予想されている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件が少ないため、地元相手の小規模業者は厳しく、県外物件を受注出来ているところは忙しい。機械加工は、自動機・工作機械関連を中心に、受注は増加傾向だったが、半導体不足の影響により、納期の見込みが立っていない。自動車メーカーも部品不足が深刻で、減産を余儀なくされており、生産計画の正常化の遅れによる影響が益々懸念される。また、高炉メーカーはコストアップを受けての値上げ浸透のため、強気だが、このところ、スクラップ価格が軟調で、下落が続いている。電炉メーカーは、高炉の値上げ姿勢により据置としているが、足元の鉄鋼需要は鈍く、先行きは不透明な状況となっている。

鉄骨加工⇒ 大手製鉄メーカーは7月から線材価格を35,000千円/ト追加値上げを発表し、業界に大きなインパクトを与えている。このような価格高騰について元請業者、施主の価格転嫁に対しての意識が浸透していくかどうかで今後の物件発注に影響が出るものと思われる。売上高は前月比、前年同月比ともに横ばいとなった。

金属熱処理⇒ 6月の受注状況は前月比で横ばいであったが、実際の稼働日数を考えると実質は景気後退気味で、状況は改善していかない。受注品目に関しても目立って悪い業種がある訳でもなく、総じて景気が低迷している状況。加工にかかるエネルギーのコスト上昇が大きくて、利益を圧迫している。業界全体でもエネルギーコストを加工単価に反映する動きも加速している。

【電気機械器具】

⇒ 部材調達の影響が深刻化している。受注は回復傾向にあるが部材入荷次第で、入荷がなければ休業、入れば残業となるため計画生産どころではない。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 卸売業では、部材調達が追い付かず納期が定まらない。食品・農薬・肥料・建材等価格改定が相次いでいる。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少しており、コロナ禍からの回復に至っていない。鮮魚関係では、売上高は前月比、前年同月比でともに減少。梅雨明けが早く、気温も高い日が続く、水産物の取扱量に影響している。燃料代の高騰もあり、依然厳しい状況が続いている。

中部地区⇒ ほとんどの取扱商品が値上がりしており、商品需要への影響が懸念される。売上高は前月比、前年同月比でともに若干の減少であり、付加価値を付けた提案営業の必要性が高まっている。

西部地区⇒ 新型コロナ感染防止対策等により一部で売上低下の動きが見受けら

れるが、徐々に回復の兆候も見られる。また、一部でウッドショックの影響が見受けられる。半導体不足の状況が続いており、電化製品、PC等の物流への影響が懸念される。

水産物⇒ 巻き網は中旬に時化があったものの、マイワシ・サバの豊漁が続き国内鮮魚、缶詰原料向けと好調であった。先月末から始まった天然本マグロ漁は100kgを越える大型魚が多く身質も良好であったことから東京をはじめとする市場向け及び年末に向けての冷凍加工原料として引き合いが強く、例年を大きく上回る相場で動いた。近海魚は底引き物の休漁期となり、梅雨も無かったことから早い夏枯れとなった模様。紅ズワイガニは来月から休漁となるため加工関係の買い強く従来にも増して浜値高で推移した。

リサイクル原料⇒ 資源（鉄・非鉄）相場は下落へ向った。古紙市況は横ばいで推移している。ロシアによるウクライナ侵攻の影響もあり先行きが不透明となっている。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、鳥取県補助による安心対策エリア版割増クーポン食事券事業により、飲食店の利用が増加した。昨年より人流や売上は増加しているが、仕入れ価格や材料費が高騰している。即時の価格転嫁は難しく、利益を圧迫している。

中部地区⇒ 倉吉の商店街では、先月から「銀座プレミアムグルメクーポン券」を発行した事が大いに人流の回復につながった。久々の賑わいを見せたことも成功であるが、クーポン券の使用条件が倉吉銀座商店街の会員で、且つ「鳥取県の認証店」の取得が条件ということもあり、倉吉銀座商店街への加入を希望者するお店が増えた。

西部地区⇒ 米子の商店街では、6月に「サンロードマーケット vol.3」を開催。前日の天候が良くなかった影響で客足は伸びなかった。7月には「The食 vol.4」が予定されている。

境港市の水産物小売では、大型連休後も賑わいを見せていたが、6月後半は感染者数が急増したことにより来場者数は落ち込んだ。例年6月は閑散月であるが、来客数の減少はさらなる追い打ちとなった。お盆へ向け、コロナ禍で落ち込んだ減収分を取り戻したい。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、観光客の入込数は減少傾向で推移、好調だった修学旅行関係も中旬頃で終わった。また、気温が高く猛暑が続いた事から客足は大きく落ち込んだ。売上高は前月比で減少、前年同月比で増加した。

米子市のホテル・旅館では、6月は閑散月となり、大型連休の反動により前月比で売上高は減少、販売価格も減少した。前年は休業が多かったため、前年同月比で売上高は増加、収益状況も好転した。

三朝温泉では、新型コロナも一息つき、各種キャンペーンもスタートしたことで売上高は、前月比、前年同月比ともに増加した。人手不足へ

の対応が今後大きな課題となっている。

羽合温泉では、売上高は前月比で減少、前年同月比で増加した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売台数は普通車、軽自動車合わせて1,996台で前月比37%増加、前年同月比は2%減少。継続検査台数（軽自動車を含む）は16,136台で前月比が13%増加、前年同月比は2%減少。中古車（軽自動車を含む）は630台で前月比が6%増加、前年同月比は18%減少となった。半導体不足等により滞っていた新車の販売は大幅な増加となり、継続検査も増加となったが、対前年ではいまだ減少状態となっている。

【建設業】

⇒ 5月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額46億円（前年同月比28%減）、件数108件（前年同月比3%増）となった。市町村の大型工事が押し下げ、単月で前年比マイナス。設備投資は、単月、3カ月平均ともに前年比マイナス。住宅建設も単月でマイナスとなった。建設資材・燃料価格上昇等のコスト増への価格転嫁の遅れや、設備機器の納期遅れ・欠品に伴い、収益への圧迫が続いている。

5月の鳥取県新設住宅着工戸数は178戸（持家132戸、貸家46戸）で、前月比16%減少、前年同月比15%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 6月の荷動きは、好天が続く季節商品が増加したものの製造業などで生産調整もあり出荷量は横ばい。売上高は前月比で増加、前年同月比で横ばいとなった。依然として燃料価格が上昇しており、収益率は悪化し厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 燃料価格高騰に伴い、組合員については運送原価が大きく上昇した。同業者間での競争が激しく、全て価格転嫁できない状況もあり、大きく収益を圧迫している。さらに、境港の合板工場火災により、受注が伸び悩んでいる。今後の収支予想についても先行きが不透明となっている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・電気、ガスをはじめエネルギー関係や資材の値上がり幅が大きく価格転嫁できないため対策を検討してほしい。【金属熱処理業】
- ・補助金制度の継続、コロナ対策融資の元本返済猶予を望む。【旅館業】
- ・業種に偏りなく事業規模や雇用に併せた支援をしてほしい。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売上高	製造業	-5.3	10.5	-36.8	15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-10.5	5.3	26.3	-36.8	-21.0	0.0	5.3
	非製造業	-5.2	10.5	-5.3	0.0	15.8	15.8	-5.3	-63.1	-31.6	52.6	10.6	21.1	10.5	15.7
	全業種	-5.3	10.5	-21.1	7.9	0.0	5.3	-7.9	-36.8	-13.2	39.4	-13.2	-5.2	5.3	10.6
在庫数量	製造業	15.8	10.5	-5.2	5.3	10.5	10.5	10.6	15.8	5.2	10.3	0.0	10.5	15.8	0.0
	非製造業	16.7	-8.4	8.4	-8.4	0.0	-8.4	8.4	16.7	-8.3	25.0	-8.3	8.4	8.4	-8.3
	全業種	16.1	3.2	0.0	0.0	6.4	0.0	9.7	16.1	0.0	16.2	-3.2	9.7	12.9	-3.2
販売価格	製造業	15.8	15.8	21.1	15.8	10.5	15.8	10.5	-15.8	10.5	15.8	15.8	26.3	15.8	0.0
	非製造業	-10.5	0.0	-5.3	0.0	5.3	10.6	5.3	10.5	-10.5	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8
	全業種	2.6	7.9	7.9	7.9	7.9	13.1	7.9	13.2	0.0	13.2	15.8	26.3	21.1	18.5
取引条件	製造業	5.3	0.0	0.0	0.0	-5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	-10.5
	非製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.2
	全業種	-2.7	-5.3	-5.3	-7.9	-10.5	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	-2.6
収益状況	製造業	-31.5	-15.8	-15.8	-5.2	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-15.8	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	15.7
	非製造業	-21.0	-21.0	-21.0	-10.5	-10.5	21.0	-21.0	-63.2	-31.6	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	5.3
	全業種	-26.3	-18.4	-18.4	-7.9	-13.1	2.6	-18.4	-42.1	-23.7	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	10.5
資金繰り	製造業	0.0	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-21.1	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5
	非製造業	-26.3	-10.5	-26.3	-26.3	-21.0	-5.3	-26.3	-42.1	-31.5	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	10.5
	全業種	-13.1	-7.9	-18.5	-18.5	-15.8	-7.9	-18.4	-31.6	-23.7	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-0.1
設備操業度	製造業	-5.3	5.3	-26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-15.8	-10.6	5.3	10.6
雇用人員	製造業	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-10.5	-5.3	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	0.0
	非製造業	-5.3	0.0	-5.2	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-21.1	-15.8	5.2	15.8	21.1	0.0	5.3
	全業種	-5.3	0.0	-2.7	-5.2	-2.7	2.7	5.4	-15.8	-10.6	2.6	2.6	7.9	-2.7	2.6
景況	製造業	-15.8	-10.6	-21.0	0.0	-10.6	-10.6	-5.3	-15.8	-15.8	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	0.0
	非製造業	-31.5	-36.8	-36.8	-42.1	-21.0	-10.5	-26.3	-63.2	-52.6	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	15.7
	全業種	-23.6	-23.7	-28.9	-21.0	-15.7	-10.5	-15.8	-39.5	-34.2	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	7.8

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2021年												2022年	前年との増減幅
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
売上高	製造業	0.0	0.0	-31.6	15.7	-21.0	-5.3	-5.2	0.0	-21.0	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	-10.5
	非製造業	26.3	15.8	-21.1	-36.8	-26.8	-57.9	-36.8	-26.3	-52.6	-21.1	26.3	57.9	26.3	0.0
	全業種	13.2	7.9	-26.3	-10.6	-29.0	-31.6	-21.1	-13.2	-36.8	-26.3	-2.6	18.4	7.9	-5.3
在庫数量	製造業	10.5	5.3	-15.8	5.3	5.2	0.0	5.3	10.5	5.2	5.3	-5.3	5.2	15.8	5.3
	非製造業	0.0	-16.7	8.4	-16.7	-33.4	-16.7	-16.7	-8.3	-25.0	-8.4	16.7	33.3	25.0	25.0
	全業種	6.4	-3.2	-6.4	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	-6.4	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9
販売価格	製造業	21.0	21.0	15.8	26.3	15.8	31.6	26.3	26.3	21.1	26.3	21.1	42.1	31.6	10.6
	非製造業	-5.3	-5.3	-15.8	0.0	0.0	0.0	21.1	21.0	10.6	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1
	全業種	7.9	7.9	0.0	13.2	7.9	15.8	23.6	23.7	15.8	23.7	26.3	34.2	34.2	26.3
取引条件	製造業	10.5	10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	-5.2	-15.8	-15.8	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	-15.7
	非製造業	-10.5	-5.2	-15.8	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.2
	全業種	0.0	2.6	-10.6	-13.1	-10.6	-7.9	-10.6	-13.2	-13.2	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	-5.3
収益状況	製造業	-10.5	-21.0	-36.8	5.2	-26.3	-26.2	-42.1	-26.3	-31.5	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-10.5
	非製造業	-5.2	-10.5	-26.3	-36.8	-52.6	-36.8	-57.9	-21.1	-52.6	-36.9	15.7	5.3	5.3	10.5
	全業種	-7.9	-15.8	-31.6	-15.8	-39.4	-31.5	-39.5	-23.7	-42.1	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	0.0
資金繰り	製造業	-15.8	-21.1	-26.3	-15.8	-21.1	-21.0	-15.8	-21.1	-21.1	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	5.3
	非製造業	-36.8	-26.3	-36.8	-47.3	-47.3	-31.5	-31.5	-21.0	-31.5	-26.3	0.0	-5.3	10.6	47.4
	全業種	-26.3	-23.6	-31.6	-31.5	-34.2	-26.3	-23.6	-21.0	-26.3	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	26.3
設備操業度	製造業	-10.5	-10.6	-31.5	0.0	-15.8	0.0	-5.2	5.3	-10.5	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	5.2
雇用人員	製造業	-10.5	-5.2	-15.8	-5.3	-5.2	0.0	5.3	-15.8	-10.5	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	5.2
	非製造業	-10.5	-15.8	-26.3	-31.6	-36.8	-26.3	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	10.6	10.6	-5.3	5.2
	全業種	-10.6	-10.6	-21.1	-18.4	-21.1	-13.1	-5.3	-18.4	-15.8	-10.6	0.0	2.6	-5.2	5.4
景況	製造業	-5.2	-15.8	-21.0	-5.3	-31.5	-26.9	-31.6	-15.8	-31.6	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-5.3
	非製造業	-26.3	-26.3	-36.8	-36.8	-47.4	-42.1	-36.9	-31.6	-36.8	-36.9	-10.5	0.0	10.5	36.8
	全業種	-15.8	-21.0	-29.0	-21.1	-39.5	-39.5	-34.2	-23.6	-34.2	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	15.8

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況						
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	悪化							
製造業	食料品	1	0	1	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	2	0	1	1	0	2	0	1	1	0						
	繊維工業	0	1	2	1	2	0	1	2	0	0	3	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	1						
	木材・木製品	1	2	1	0	4	0	0	4	0	0	3	1	2	1	0	3	1	1	3	0	4	0	3	1						
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1						
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2						
	化学ゴム																														
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1						
	鉄鋼・金属	0	2	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	2	0	0	2	0	2	0	0	1						
	一般機器	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3						
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1						
非製造業	輸送用機器																														
	その他																														
	卸売業	19	5	9	5	3	16	0	3	16	0	1	16	2	2	12	5	0	17	2	3	14	2	0	18	1	2	12	5		
	小売業	100%	26.3%	47.4%	26.3%	15.8%	84.2%	0.0%	15.8%	84.2%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	63.2%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	73.7%	10.5%	0.0%	94.7%	5.3%	10.5%	63.2%	26.3%		
	商店街	2	2	2	0	5	1	3	3	0	0	6	0	1	3	2	0	6	0						0	6	0	0	6	0	
	サービス業	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0						1	0	0	1	0	0	
	建設業	2	2	0	1	3	0	1	3	0	0	3	1	1	3	0	4	0	0						0	4	0	1	2	1	
	運輸業	2	0	3				1	3	1	0	5	0	1	1	3	0	3	0	2						0	4	1	0	4	1
	その他	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0							0	1	0	0	0	1
	その他	1	1	0				1	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1							0	2	0	0	0	2
その他																															
	19	8	5	6	2	8	1	6	12	1	0	18	1	4	8	7	0	16	3						1	17	1	2	12	5	
	100%	42.1%	26.3%	31.6%	16.7%	66.7%	8.3%	31.6%																							

情報連絡員報告総括表(令和4年6月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品	0	1	1	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0		
	繊維工業	0	1	2	1	2	0	0	3	0	0	3	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	1	2	0		
	木材・木製品	1	2	1	0	3	1	1	3	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	1	2	1	0	4	0	0	2	2	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	
	化学ゴム																												
	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	
	鉄鋼・金属	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	
	一般機器	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	電気機器	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
輸送用機器																													
その他																													
非製造業	卸売業	19	4	9	6	4	14	1	6	13	0	1	16	2	1	13	5	0	17	2	3	12	4	0	18	1	3	11	5
	小売業	100%	21.1%	47.4%	31.6%	21.1%	73.7%	5.3%	31.6%	68.4%	0.0%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	15.8%	63.2%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%	15.8%	57.9%	26.3%
	商店街	2	2	2	2	3	1	3	2	1	0	6	0	1	3	2	0	6	0					0	6	0	1	5	0
	サービス業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				1	0	0	0	1	0	
	建設業	2	2	0	1	3	0	1	3	0	0	3	1	1	3	0	0	4	0				0	2	2	1	2	1	
	運輸業	4	0	1				2	3	0	0	5	0	4	0	1	0	4	1	0			1	4	0	4	0	1	
	その他	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1	
	その他	0	2	0				1	1	0	0	2	0	0	1	1	1	0	1				0	2	0	0	1	1	
	その他																												
	その他	19	9	6	4	4	6	1	8	10	1	0	18	1	6	8	5	4	13	2				2	14	3	6	9	4
100%	47.4%	31.6%	21.1%	33.3%	50.0%	8.3%	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	31.6%	42.1%	26.3%	21.1%	68.4%	10.5%				10.5%	73.7%	15.8%	31.6%	47.4%	21.1%		
38	13	15	10	8	20	2	14	23	1	1	34	3	7	21	10	4	30	4	3	12	4	2	32	4	9	20	9		
100%	34.2%	39.5%	26.3%	25.8%	64.5%	6.5%	36.8%	60.5%	2.6%	2.6%	89.5%	7.9%	18.4%	55.3%	26.3%	10.5%	78.9%	10.5%	15.8%	63.2%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	23.7%	52.6%	23.7%		

